

地域を守る・伝える絵本作家になろう！

小学校低学年 小学校中学年 小学校高学年 中学校

ESDの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

- 多様性
- 相互性
- 有限性
- 公平性
- 連携性
- 責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

- 【批判】批判的に考える力
- 【未来】未来像を予測して計画を立てる力
- 【多面】多面的、総合的に考える力
- 【伝達】コミュニケーションを行う力
- 【協力】他者と協力する態度
- 【関連】つながりを尊重する態度
- 【参加】進んで参加する態度

プログラム目標

博物館の学芸員の指導の下、オキナグサの生態や激減している理由を調査し、自分たちの生活や社会活動がオキナグサなどの自然環境に与える影響について理解を深めます。そして、地元の住民団体といっしょにオキナグサの栽培と移植に取り組むことで、自分の身近な環境に対する関心を高めます。

環境問題や自然保護に造詣の深い絵本作家といっしょに、環境学習・活動の体験から学んだことや、オキナグサの保護・保全に向けたメッセージを絵本で表現することを通して、人と自然のつながりや関わり方について考え、それを他者とわかちあうきっかけとします。

プログラム概要

カルデラを残す火山地形と山麗に牧歌的な草原景観が広がる三瓶山（国立公園）では、近年、温暖化などの環境変化や外来種の繁殖、違法な動植物採取などが問題となり、地域住民が自然環境の保護・保全に取り組んでいます。このプログラムでは、地域の小学校・博物館・住民団体が協働で、草原の荒廃や盗掘によって激減しているオキナグサ（島根県の絶滅危惧種Ⅱ類）を栽培・移植して環境再生を図ると共に、絵本づくりを通して地域の自然環境の素晴らしさや保護・保全活動を啓発します。

学習指導要領との関連

学年 教科	小学校3年 小学校4年	理科	小学校3年 小学校4年	国語
学習内容	2-B「生命・地球」 3年生（2）身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えを持つことができるようにする。 イ. 生物は、その周辺の環境とかかわっていきっていること。		3-2-B「書くこと」 ア. 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要なことを調べる。文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係等に注意して文章を構成する。 ウ. 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。 カ. 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについての意見を延べ合うこと。	

学年 | 教科

小学校3年
小学校4年

図画工作

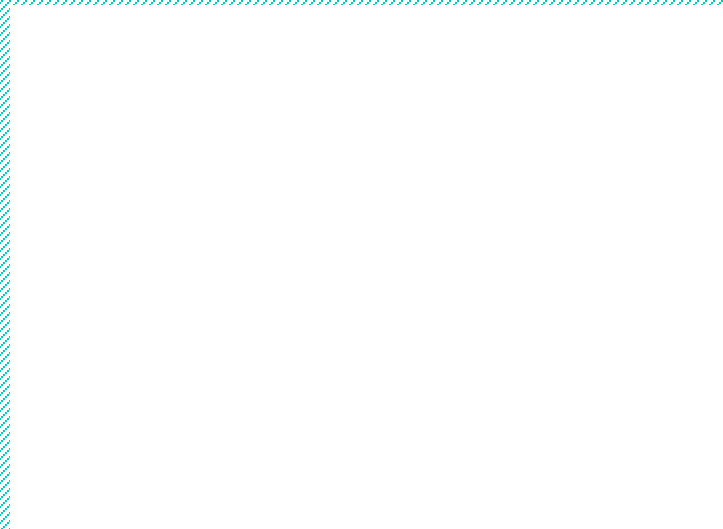
小学校3年
小学校4年

総合的な学習
の時間

学習内容

3-2-2「内容」

ア. 身近な材料や場所などを基に発想してつくること。
イ. 新しい形をつくるとともに、その形から発想したりみんなです話し合って考えたりしながらつくること。



プログラム（単元・題材）の展開の流れ

13時間

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
(1・2時間) 地域の自然とふれあおう		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然を観察する。 ・オキナグサの保護活動している地元団体と交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の指導により、地域の生態系への理解を深める。 ・環境の変化や人によるオキナグサへの影響を学ぶ。 <p>〔虫めがね、観察シート、図鑑〕</p>



時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
(3~6時間) オキナグサを育てよう		<ul style="list-style-type: none"> ・オキナグサの育て方を調べる。 ・オキナグサの種まきから移植までを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元団体の指導により、オキナグサを育て、その経過を観察する。 <p>〔図書、図鑑、種、鉢、観察シート〕</p>
(7・8時間) シナリオを描こう		<ul style="list-style-type: none"> ・オキナグサの保護活動で学んだことを整理する。 ・オキナグサを守るための、絵本のストーリーを練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オキナグサの保護活動での学びを全体で共有し、ストーリーの基となる素材を整理する。 ・人と自然の関係性の課題の中で、自分たちができることや他者に呼びかけたいことをストーリーに落とし込む。 <p>〔ポストイット、マーカー、模造紙〕</p>
(9~11時間) 絵本をつくろう		<ul style="list-style-type: none"> ・下書きを行い、文章と絵の構成を組み立てる。 ・絵本に描き込み、仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法は自由でよいが、他者に伝わるものを作るという規範を持つ。 ・構成や描き方について、絵本作家のサポートを仰ぐ。 <p>〔下書き用の用紙、白地の絵本、マーカー、色えんぴつ、絵の具〕</p>

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
(12・13時間) メッセージを伝えよう		・完成した絵本を発表する。	・保護者や地域住民に絵本を発表し、地域の自然を守るためのメッセージを伝える。また、その感想を聞くことで、他者からの評価や多様な価値観とふれあう。

プログラム地域化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー：大田市立北三瓶小学校、公益財団法人しまね自然と環境財団（島根県立三瓶自然館サヒメル）、環境教育事務所Leaf
実証協力校等：大田市立北三瓶小学校